

第7回金融コンファレンス

# 三井トラストフィナンシャルグループの 経営戦略



平成17年9月8日

三井トラスト・ホールディングス株式会社

# 内容

---

## ・経営戦略

- ・経営方針
- ・業績推移
- ・収益性と効率性
- ・収益構造の転換
- ・ローコスト・オペレーション

## ・業績ダイジェストおよび業務運営状況

1. 業績ダイジェスト
2. 資金業務の効率化
3. 手数料ビジネスの強化

## ・財務基盤強化

- ・不良債権処理
- ・不良債権残高と不良債権比率
- ・保有株式
- ・債券ポートフォリオ
- ・繰延税金資産
- ・自己資本

## ・新たな取組み



## ・ 経営戦略

- ・ 経営方針
- ・ 業績推移
- ・ 収益性と効率性
- ・ 収益構造の転換
- ・ ローコスト・オペレーション

## 三井トラストフィナンシャルグループ

経営の取組み

H17/3期

～収益力強化～

- ・粗利益の拡大
- ・ローコスト運営

着実に実現

収益構造の転換  
徹底した効率経営

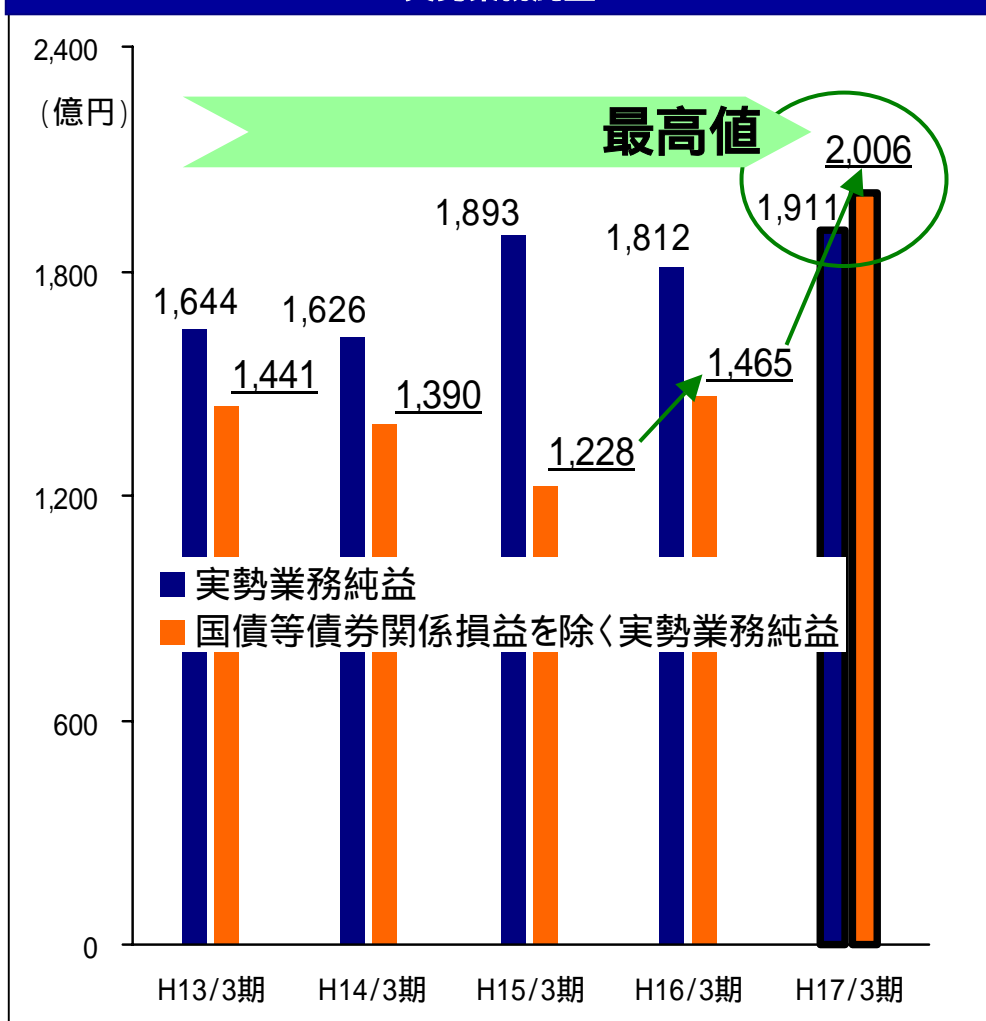
～財務基盤強化～

- ・不良債権の最終処理
- ・保有株式の圧縮

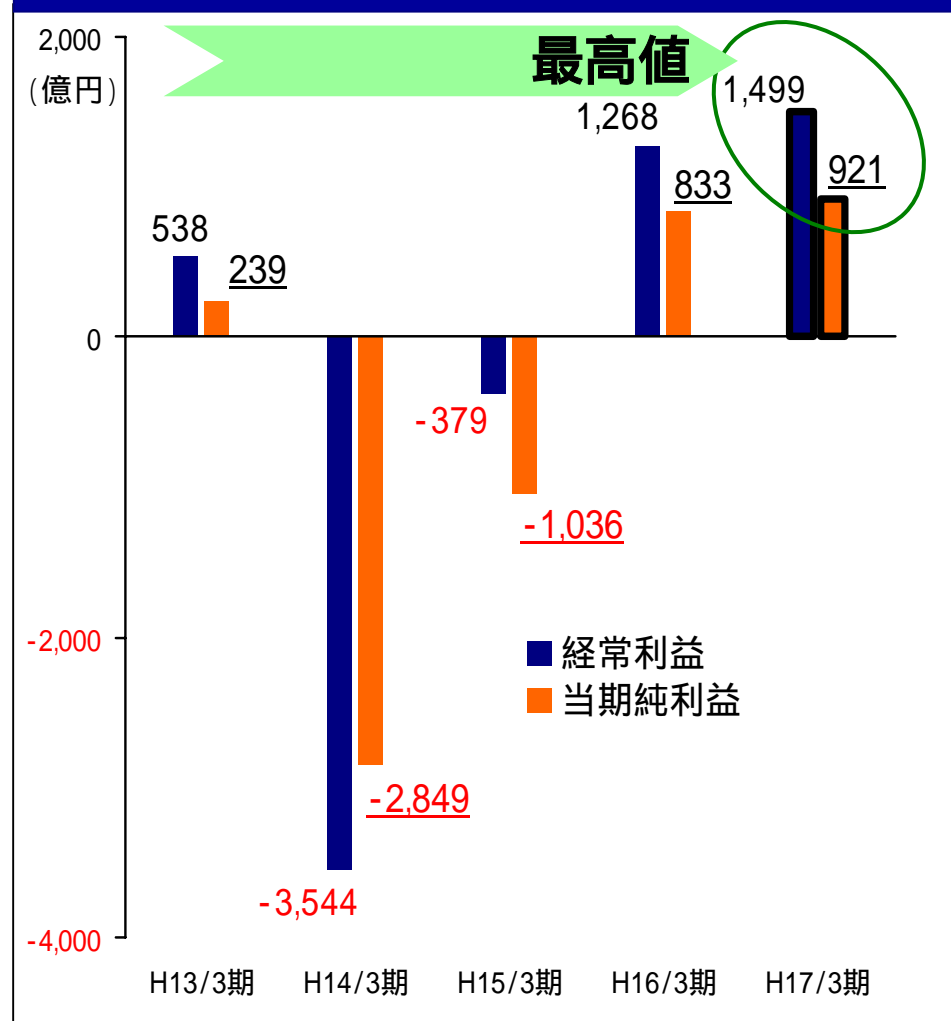
ほぼ完了

# 業績推移

## 実勢業務純益



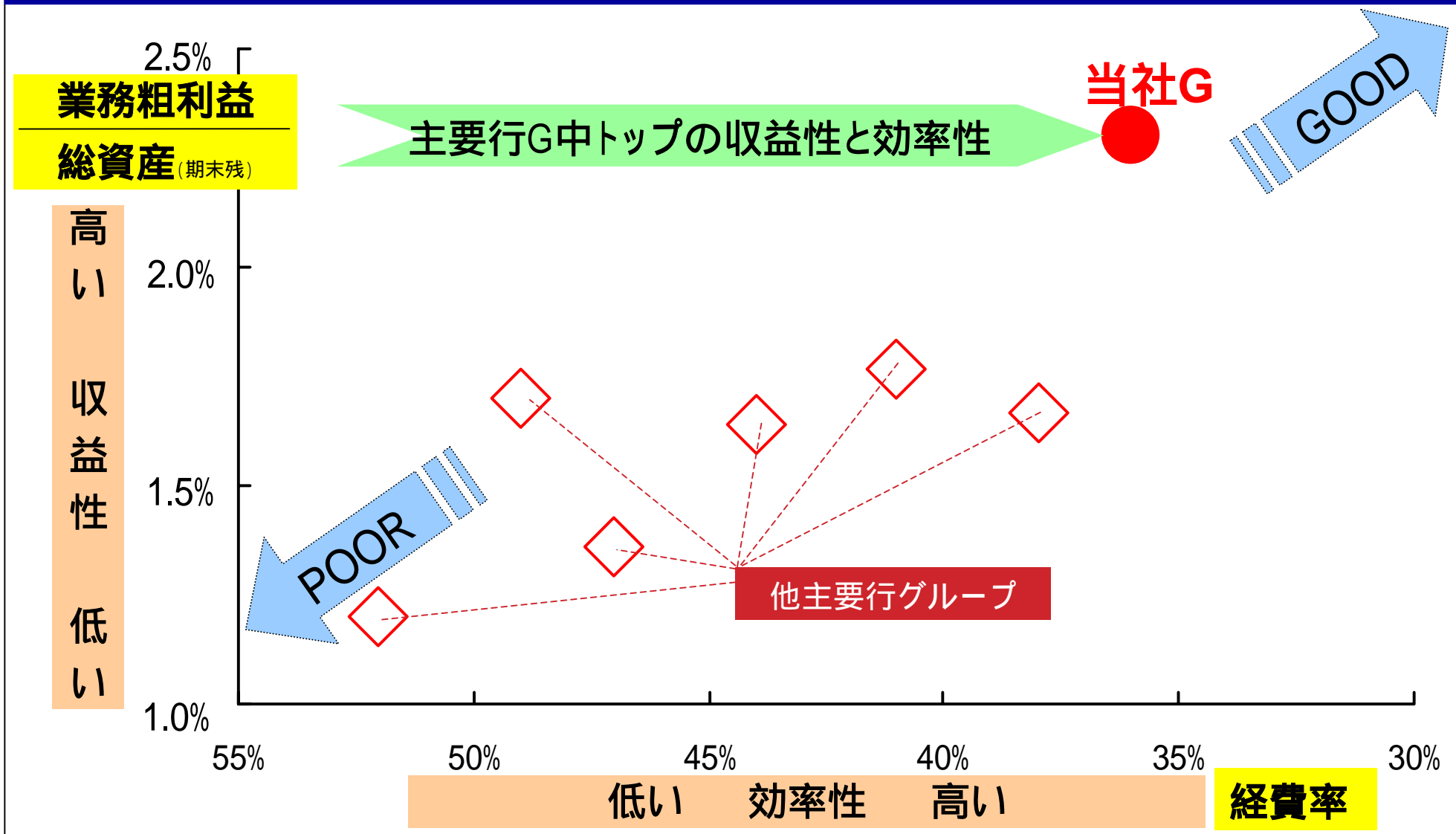
## 経常利益と当期純利益



H13/3期は中央三井、H14/3期以降は中央三井・三井アセット合算

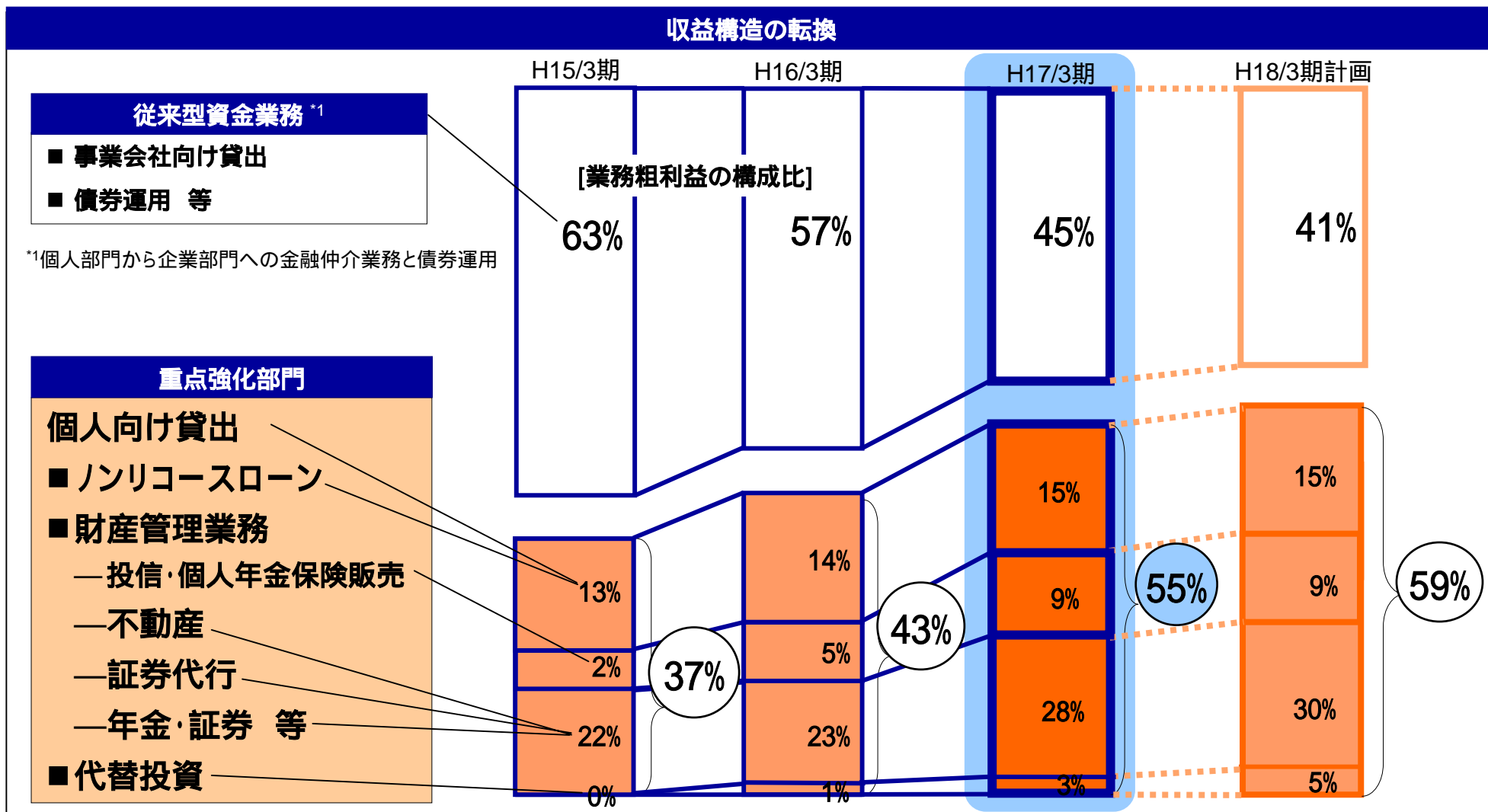
# 収益性と効率性

収益性と効率性：H17/3期、主要行グループ比較



# 収益構造の転換

粗利益全体に占める、重点強化部門のウェイトが50%を上回る。

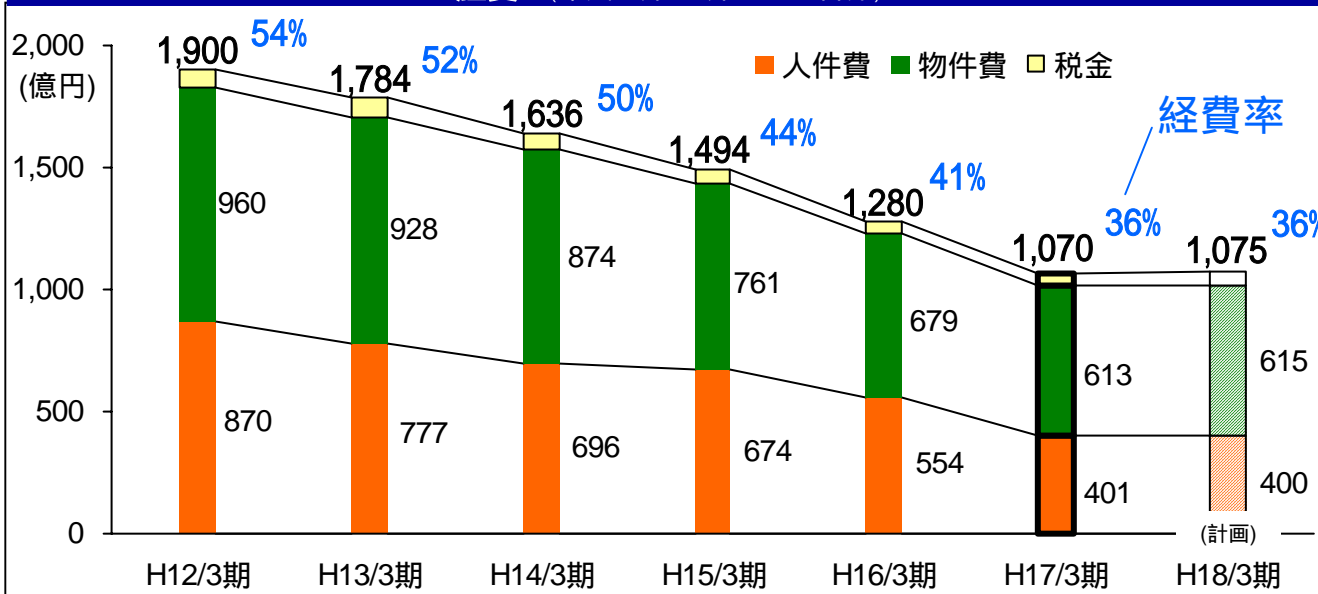


# ローコスト・オペレーション

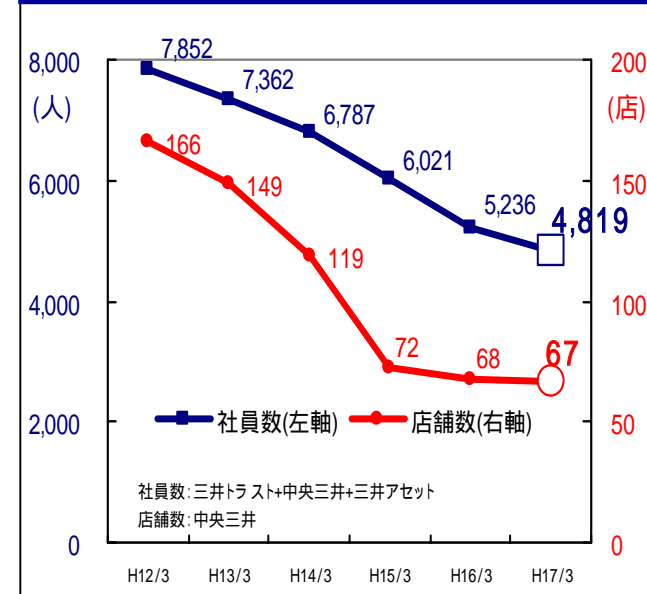
## ローコスト・オペレーション (中央三井・三井アセット合算)

項目	H17/3期実績	H18/3期計画
経費	実績: 1,070億円 (H16/3期比210億円減、16%減)	ほぼ横這いを予定
経費率	主要行G中、トップの36%	現状の効率性を維持

## 経費 (中央三井・三井アセット合算)



## 社員数と店舗数





## 業績ダイジェストおよび業務運営状況

1. 業績ダイジェスト
2. 資金業務の効率化
3. 手数料ビジネスの強化

## -1. 業績ダイジェスト

- ・ 業績ダイジェスト
- ・ 部門別収益状況

# 業績ダイジェスト

## H17/3期業績概要とH18/3期業績予想

	a	b	c:b	d	(億円) e:d-b
中央三井+三井アセット 単純合算	H16/3期	実績 H17/3期	増減	予想 H18/3期	増減
業務粗利益 *1	3,093	2,981	-111	2,975	-6
経費 ( )	1,280	1,070	-210	1,075	5
経費率	41%	36%	-5%	36%	0%
実勢業務純益 *2	1,812	1,911	98	1,900	-11
国債等債券関係損益除く 実勢業務純益	1,465	2,006	540	2,000	-6
株式等損益	397	158	-238	-100	-258
経常利益	1,268	1,499	231	1,300	-199
法人税等調整額 ( )	669	471	-197	-	-471
当期純利益	833	921	88	1,200	279
与信関係費用 ( )	583	439	-144	350	-89
三井トラスト、連結	H16/3期	H17/3期	増減	H18/3期	増減
経常利益	1,053	1,574	520	1,400	-174
当期純利益	507	940	432	1,200	260
ROE *3	13%	19%	6%	22%	3%

\*1 信託勘定償却前 \*2 信託勘定償却前・一般貸倒引当金繰入前 \*3 資本勘定、平残ベース



# 部門別収益状況

部門別業務粗利益					
	a	b	c:b	d	(億円) e:d-b
中央三井+三井アセット 単純合算	H16/3期	実績 H17/3期	増減	予想 H18/3期	増減
<b>銀行業務</b>	<b>2,226</b>	<b>1,895</b>	<b>-330</b>	<b>1,825</b>	<b>-70</b>
A,B除く 3勘定資金収益、等	1,396	1,428	32	1,310	-118
A 個人向け貸出・ノンリコースローン	456	460	4	460	0
B 代替投資	27	101	74	155	54
国債等債券関係損益	347	-94	-442	-100	-6
<b>財産管理業務</b>	<b>866</b>	<b>1,085</b>	<b>219</b>	<b>1,150</b>	<b>65</b>
投信・個人年金保険販売	153	260	107	270	10
不動産	136	253	117	260	7
証券代行	150	157	7	175	18
年金	254	249	-5	265	16
証券	78	88	10	105	17
その他	94	75	-19	75	0
<b>業務粗利益合計</b>	<b>3,093</b>	<b>2,981</b>	<b>-111</b>	<b>2,975</b>	<b>-6</b>
<b>経費</b>	<b>1,280</b>	<b>1,070</b>	<b>-210</b>	<b>1,075</b>	<b>5</b>
<b>実勢業務純益</b>	<b>1,812</b>	<b>1,911</b>	<b>98</b>	<b>1,900</b>	<b>-11</b>

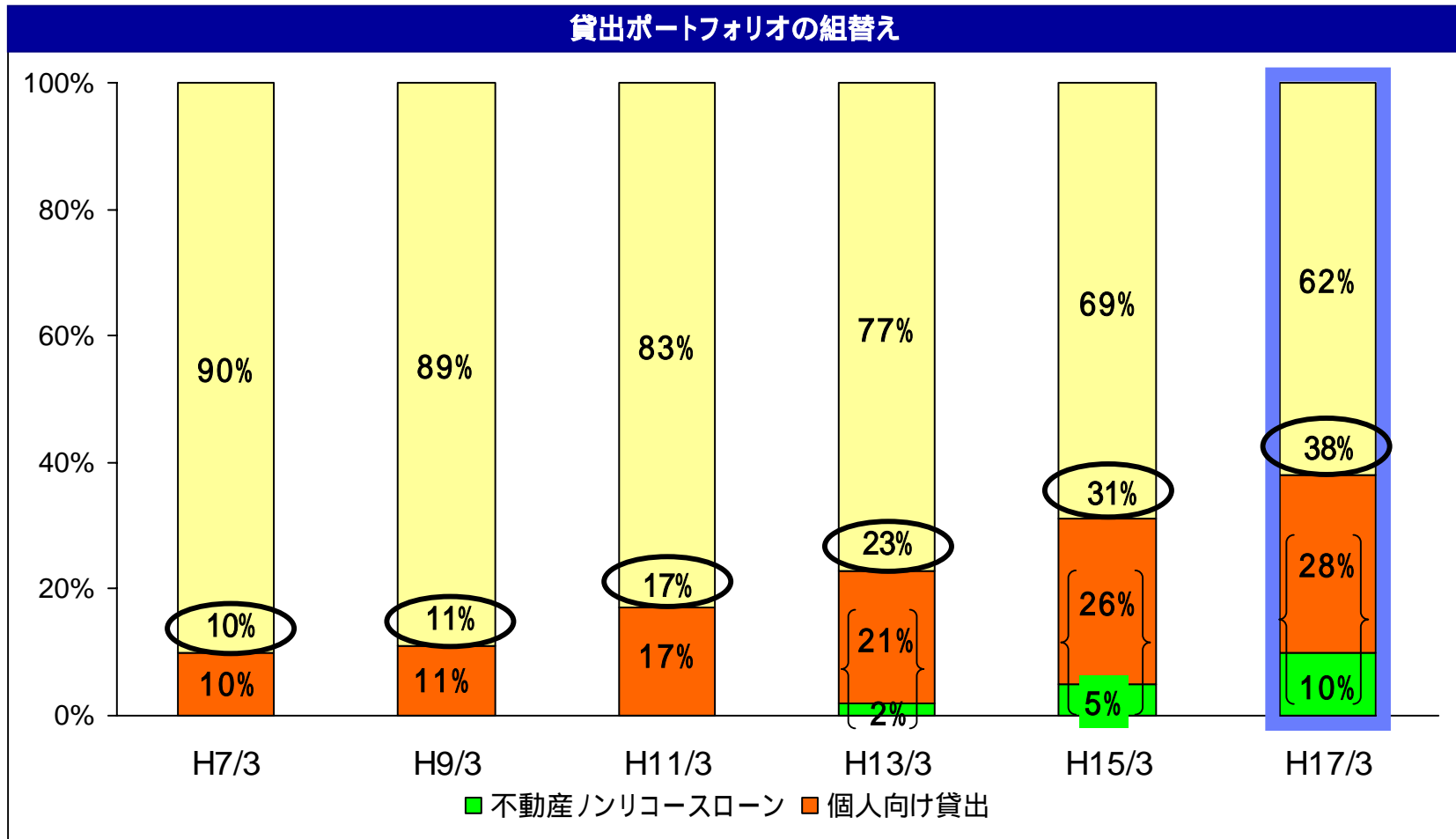
## -2. 資金業務の効率化

- ・ 貸出ポートフォリオの組替え
- ・ 住宅ローン
- ・ 不動産アセットファイナンス
- ・ 貸出ボリューム
- ・ 利回り・利ざや
- ・ 代替投資

# 貸出ポートフォリオの組替え

個人向け貸出と不動産ノンリコースローンの  
構成比:38%まで上昇

- 個人貸倒実績率:0.01%で安定して推移
- 不動産ノンリコースローン:貸倒実績なし



# 住宅ローン

## 住宅ローンの純増額も年々増加

H15/3期	H16/3期	H17/3期
2,665	2,714	2,923

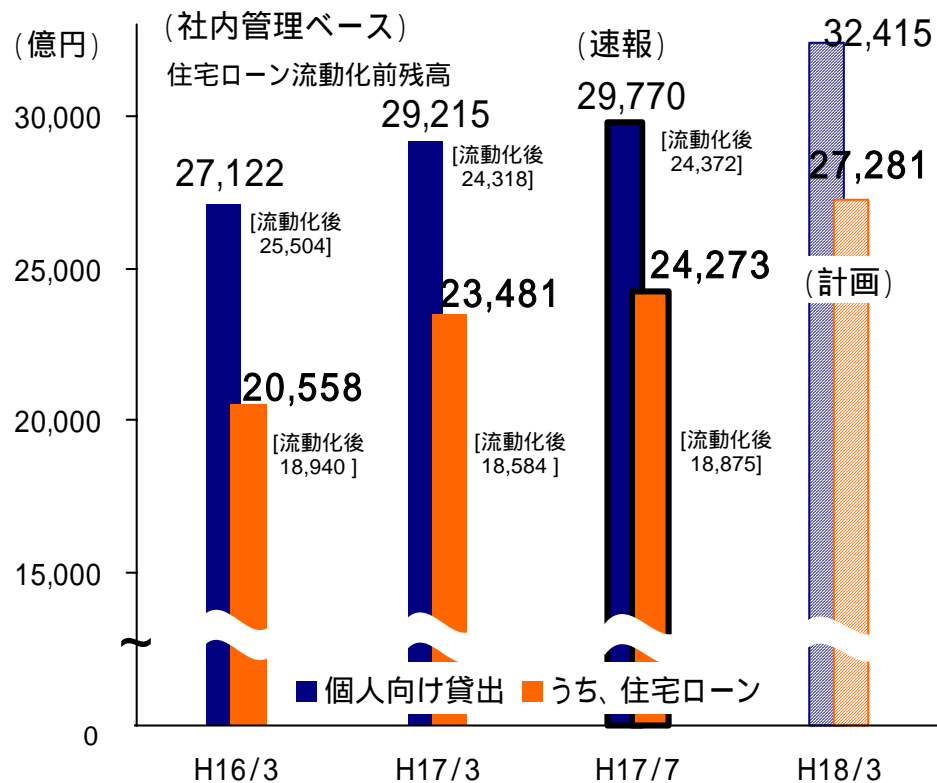
億円

## “ルート・セールス”

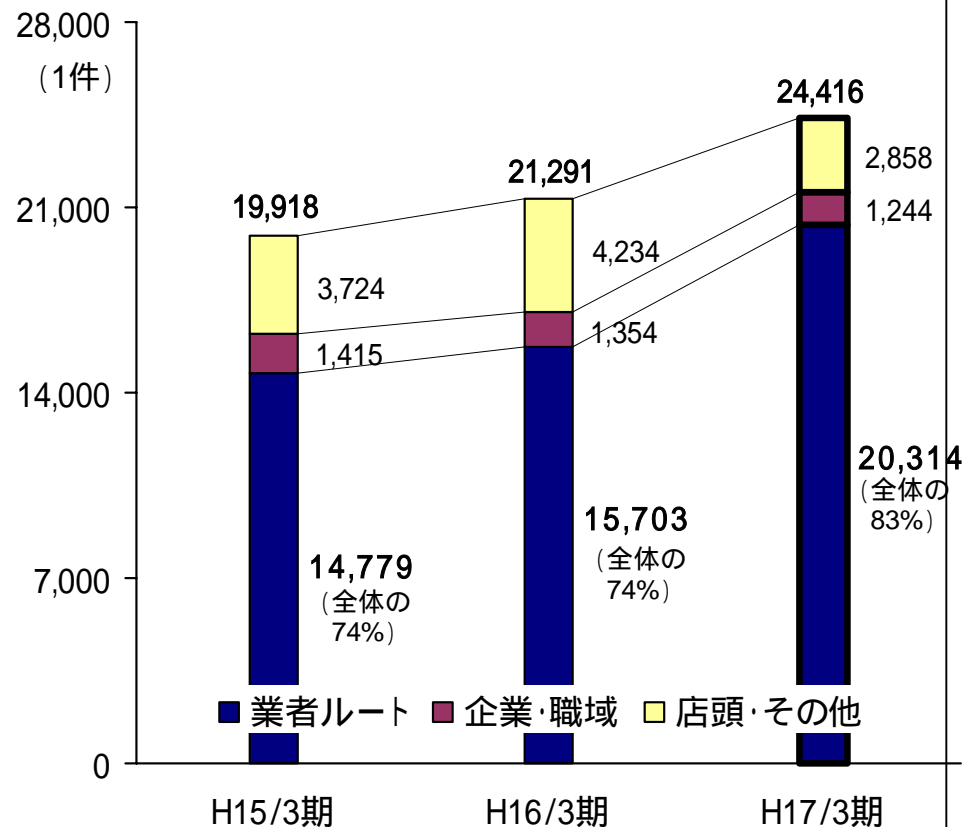
(不動産業者や住宅開発業者とのパイプ)

戦略により、他社との差別化に成功

### 個人向け貸出



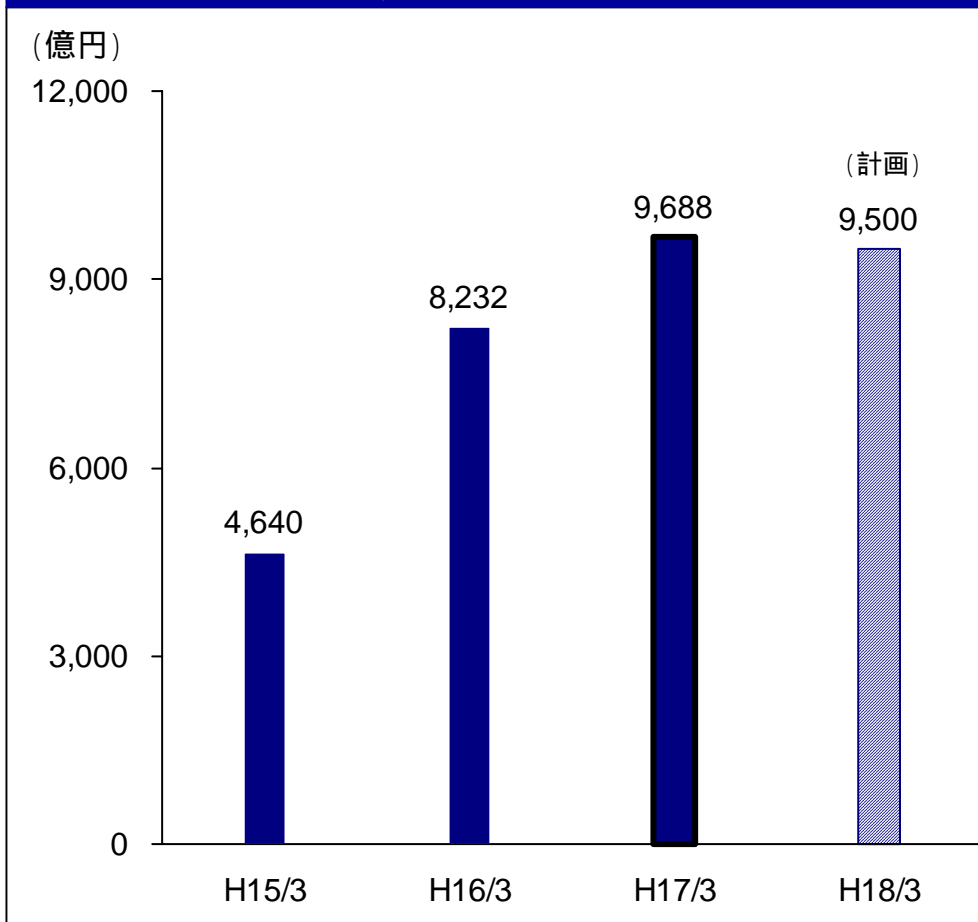
### 住宅ローン案件獲得ルート



# 不動産アセットファイナンス

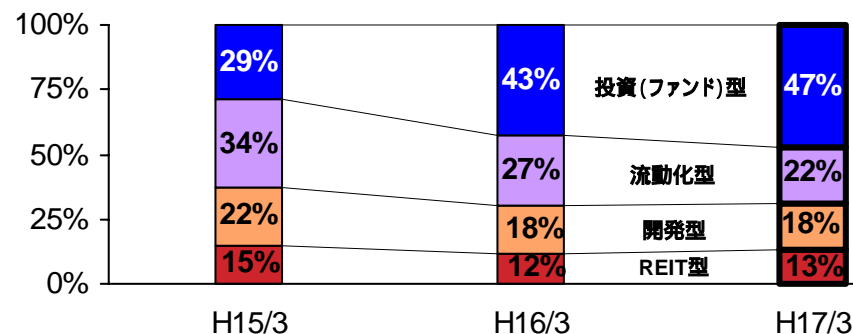
今期は流動化にも取組む  
(H17/5、630億円実施)

## 不動産アセットファイナンス



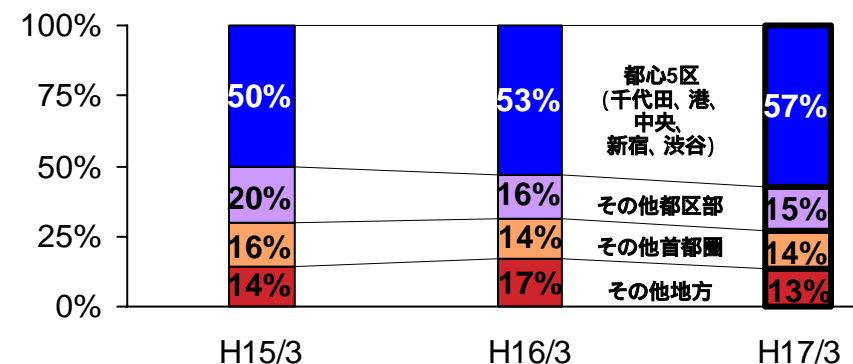
投資(ファンド)型が引き続き好調

## 不動産ノンリコースローンのタイプ(金額ベース)



投資(ファンド)型: 不動産ファンド等の投資案件、流動化型: 企業のオフバランス化案件  
開発型: オフィス・マンション等の新規開発案件、REIT型: REIT(投資法人)向け貸出

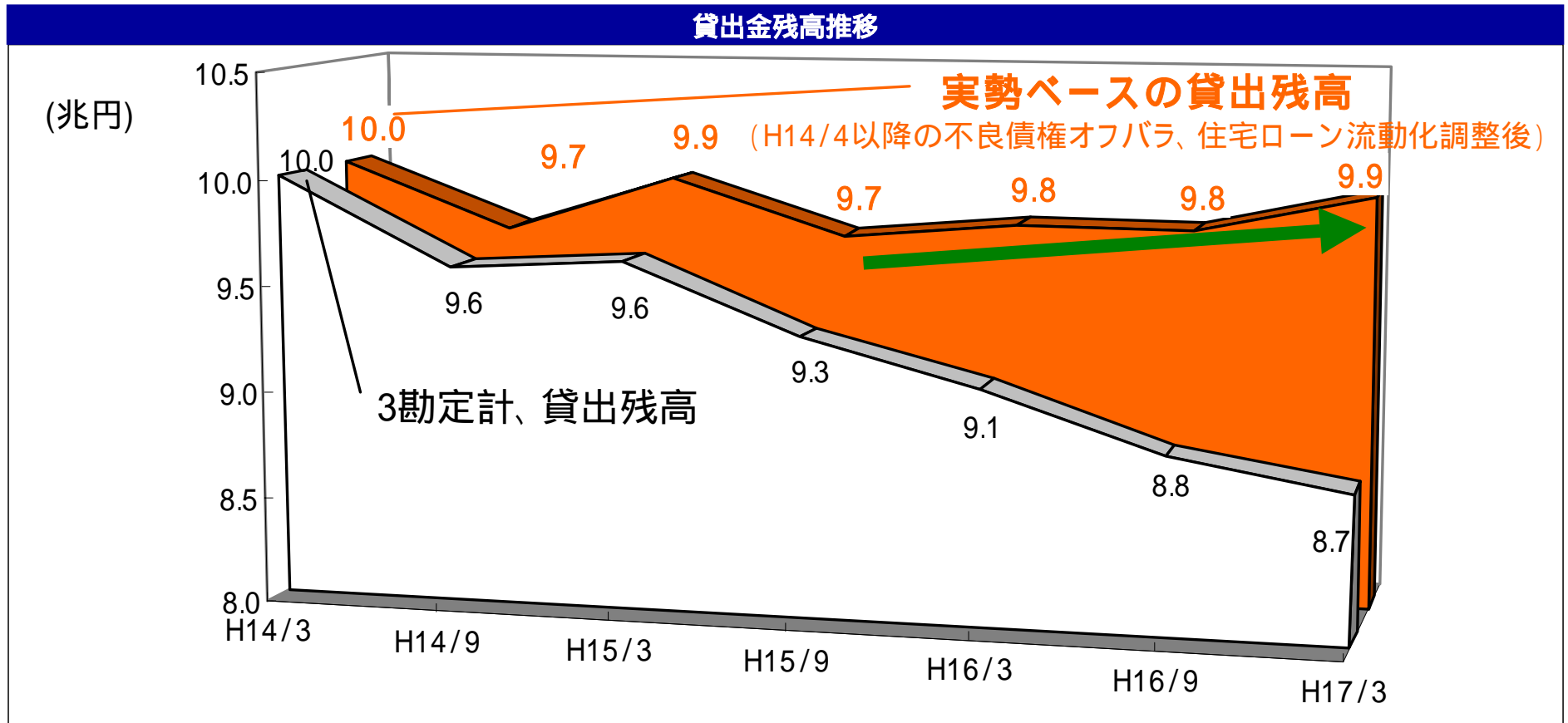
## 不動産ノンリコースローンの地域別内訳(金額ベース)





# 貸出ボリューム

貸出ボリュームに下げ止まり感がはっきりと出てきた



# 利回り・利ざや

## 中央三井・銀行勘定・国内部門利回り

	a	b	c:b
	H16/3期	H17/3期	比較
資金運用利回り	1.26%	1.13%	-0.12%
貸出金利回り	1.61%	1.40%	-0.20%
有価証券利回り	0.73%	0.74%	0.01%
資金調達利回り	0.41%	0.33%	-0.07%
預金利回り	0.29%	0.22%	-0.07%
総資金利鞘	0.85%	0.80%	-0.04%
預貸金利鞘	1.31%	1.18%	-0.13%

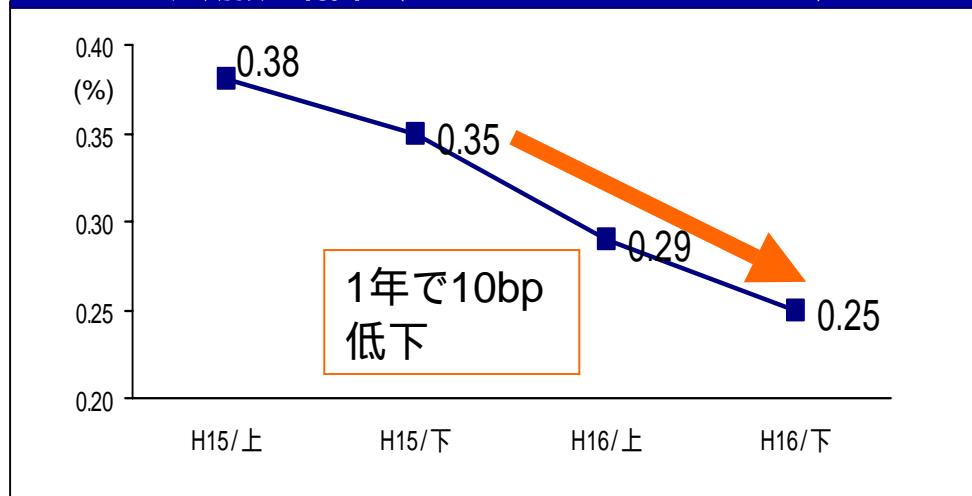
資金調達コストの低下傾向継続

## 中央三井・3勘定利回り

銀行勘定【国内業務部門】+ 合同 + 貸信

	a	b	c:b
	H16/3期	H17/3期	比較
資金運用利回り	1.31%	1.19%	-0.12%
貸出金利回り	1.62%	1.46%	-0.16%
有価証券利回り	1.03%	0.96%	-0.06%
資金調達利回り	0.32%	0.27%	-0.05%
預金・元本利回り	0.21%	0.17%	-0.04%
総資金利鞘	0.99%	0.92%	-0.07%
預(元本)貸金利鞘	1.41%	1.29%	-0.11%

## 定期預金利回り (社内管理、期中平均、ストックベース)



# 代替投資

## 代替投資：実績と計画

		(億円)		
		実績	実績	計画
		H16/3期	H17/3期	H18/3期
a	末残	3,500	6,800	8,500
	平残	800	5,600	7,500
b	収益額 <sup>*1</sup>	47	126	230
b/a	収益率	5.9%	2.2%	3.1%

\*1 グロスベース(調達コスト考慮前)

- 運用資産多様化の一環、保有株式の圧縮等に代替する運用
- リスクコントロールを十分意識した運用

## ご参考：代替投資のリスク量

- ・与信ポートの改善
- ・保有株式の圧縮

ここ2年間の代替投資以外の  
リスク量減少額：約1,100億円

ここ2年間の自己資本の  
増加額：約3,000億円

**リスク許容度の改善** (約4,100億円)

代替投資によるリスク量の増加：  
約700億円

### -3. 手数料ビジネスの強化

- ・投信・個人年金保険販売
- ・不動産業務
- ・証券代行業務
- ・年金・証券業務(三井アセット信託)

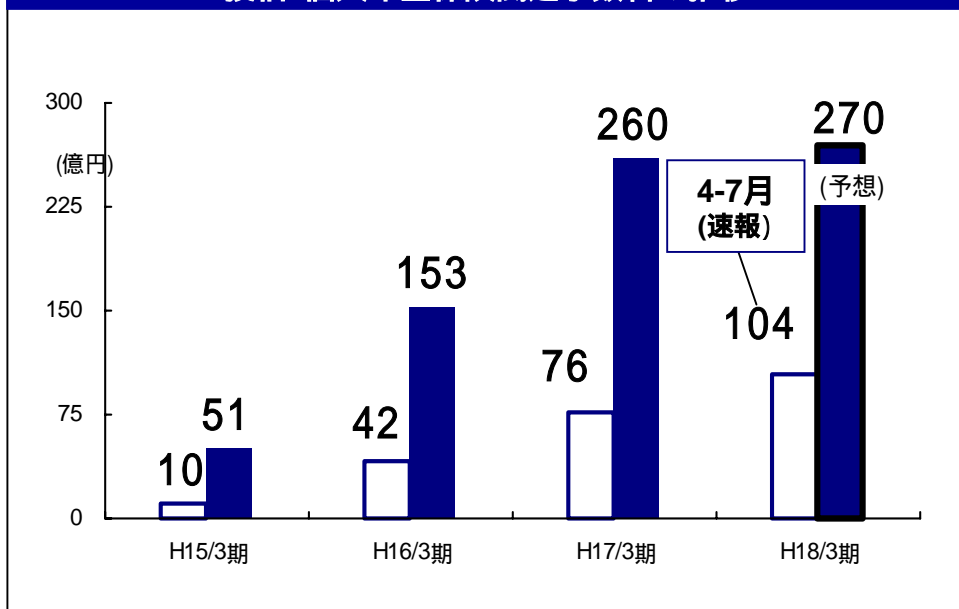
# 投信・個人年金保険販売

- 今期計画： コンサルテーションの更なる充実と、 新商品発売等により、年間収益270億円を計画
- 17年4～7月、4ヶ月実績： 約104億円（前年同期比37%増加）

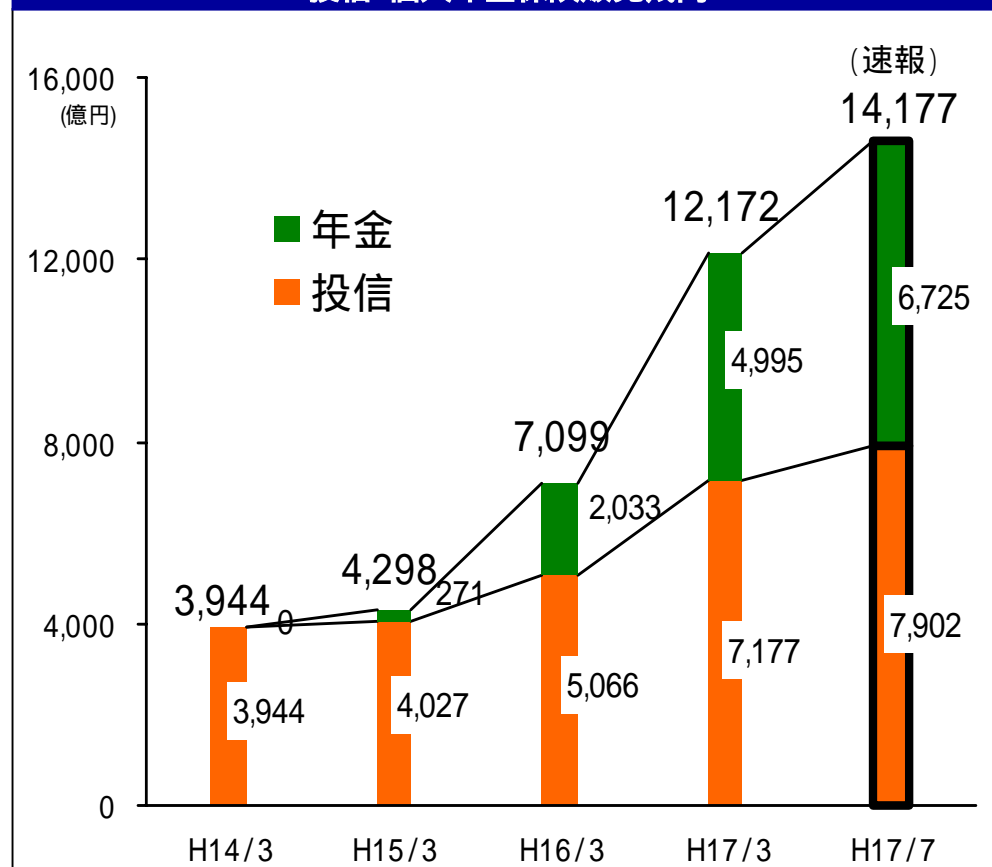
## 投信・個人年金保険関連手数料の内訳

中央三井	a	b		c:b	d	(億円)
	H16/3期	H17/3期	実績	増減	H18/3期	予想
投信関連	67	88	21		90	2
年金保険関連	85	171	86		180	9
合計	153	260	107		270	10

## 投信・個人年金保険関連手数料の推移



## 投信・個人年金保険販売残高



# 不動産業務

## 不動産部門収益の内訳

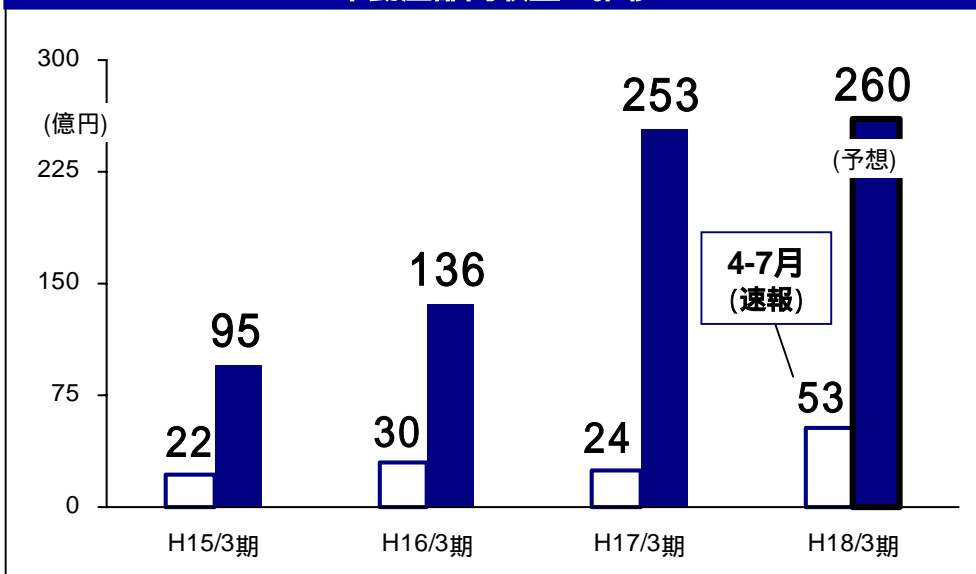
中央三井	a	b	c:b	d	(億円)
	H16/3期	H17/3期	増減	H18/3期	e:d-b
		実績		予想	
仲介、等	105	210	105	215	5
流動化関連収益	31	43	12	45	2
合計	136	253	117	260	7

■不動産市場の拡大、戦力強化等により、H12の中央三井誕生以降、最高の収益を計上

■ファンドビジネスに強みを持ち、不動産の金融商品化の流れを着実に捕捉

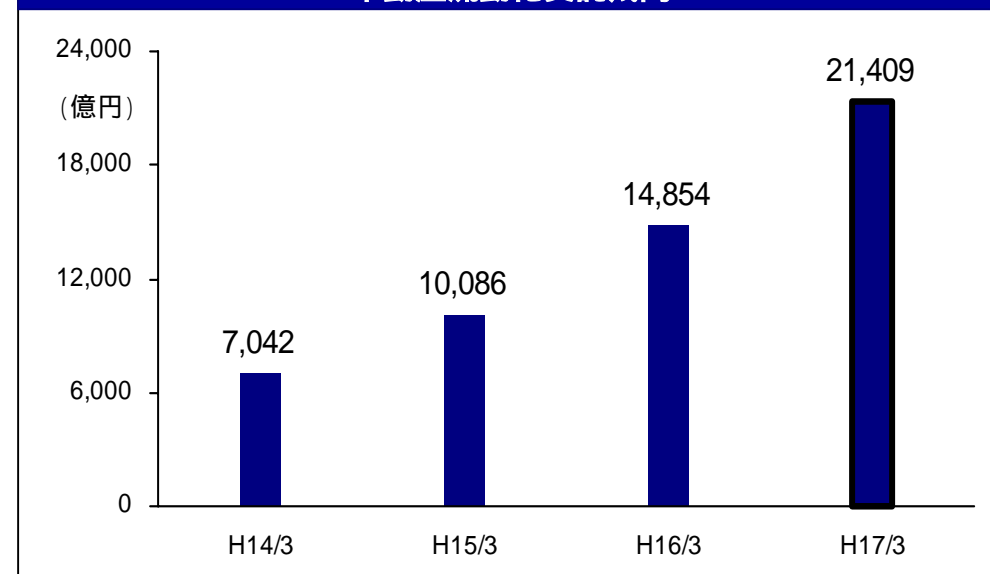
## ファンド・投資家関連の仲介収益が増加

### 不動産部門収益の推移



## 流動化関連収益も着実に増加

### 不動産流動化受託残高



# 証券代行業務

## 証券代行部門収益の内訳

中央三井	a	b	c.b	d	(億円)
	H16/3期	H17/3期	増減	H18/3期	e:d-b
		実績		予想	
受入手数料	246	270	24	290	20
支払手数料( )	96	113	17	115	2
合計	150	157	7	175	18

■東京証券代行の子会社化により、IT投資等でスケールメリットを享受

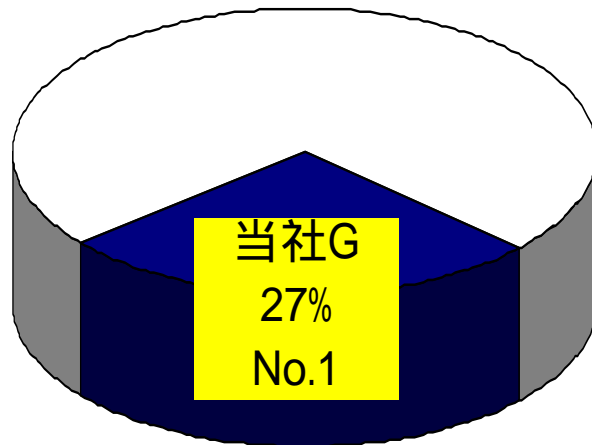
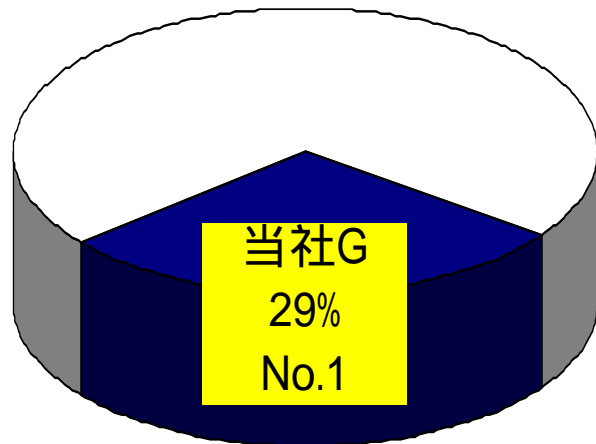
■三井住友銀行との信託代理店効果等により、管理株主数シェアの増加を計画

H17/3、東京証券代行を子会社化：シェアで約3%上昇。

## 業界シェア

管理株主数 (H17/3)

公開会社受託社数 (H17/3)



# 年金・証券業務(三井アセット信託)

三井アセット: H17/3期実績とH18/3期業績予想

	a	b	c:b 増減	d	(億円) e:d-b 増減
	H16/3期	実績 H17/3期		予想 H18/3期	
業務粗利益	327	328	1	360	32
年金部門	254	249	-5	265	16
証券部門	78	88	10	105	17
その他	-4	-9	-5	-10	-1
経費	210	145	-65	140	-5
経費率	64%	44%	-20%	39%	-5%
業務純益	116	182	66	220	38
当期利益	46	101	55	120	19

継続的な業務運営の効率化に加え、日本トラスティサービス信託銀行への受託資産管理業務のアウトソーシング効果により、経費を大幅に削減

オルタナティブ商品等、高採算運用商品のクロスセル等により、

受入報酬・手数料が増加に転じる

年金部門収益の内訳

三井アセット	a	b	c:b 増減	d	(億円) e:d-b 増減
	H16/3期	実績 H17/3期		予想 H18/3期	
受入報酬・手数料	285	309	24	265	
再信託報酬( )	31	60	29		
合計	254	249	-5	265	16

証券部門収益の内訳

三井アセット	a	b	c:b 増減	d	(億円) e:d-b 増減
	H16/3期	実績 H17/3期		予想 H18/3期	
受入報酬・手数料	108	116	8	105	
再信託報酬( )	30	28	-2		
合計	78	88	10	105	17

拡張する投資信託マーケットへの取組みを強化し、受託残高・投資助言残高を拡大



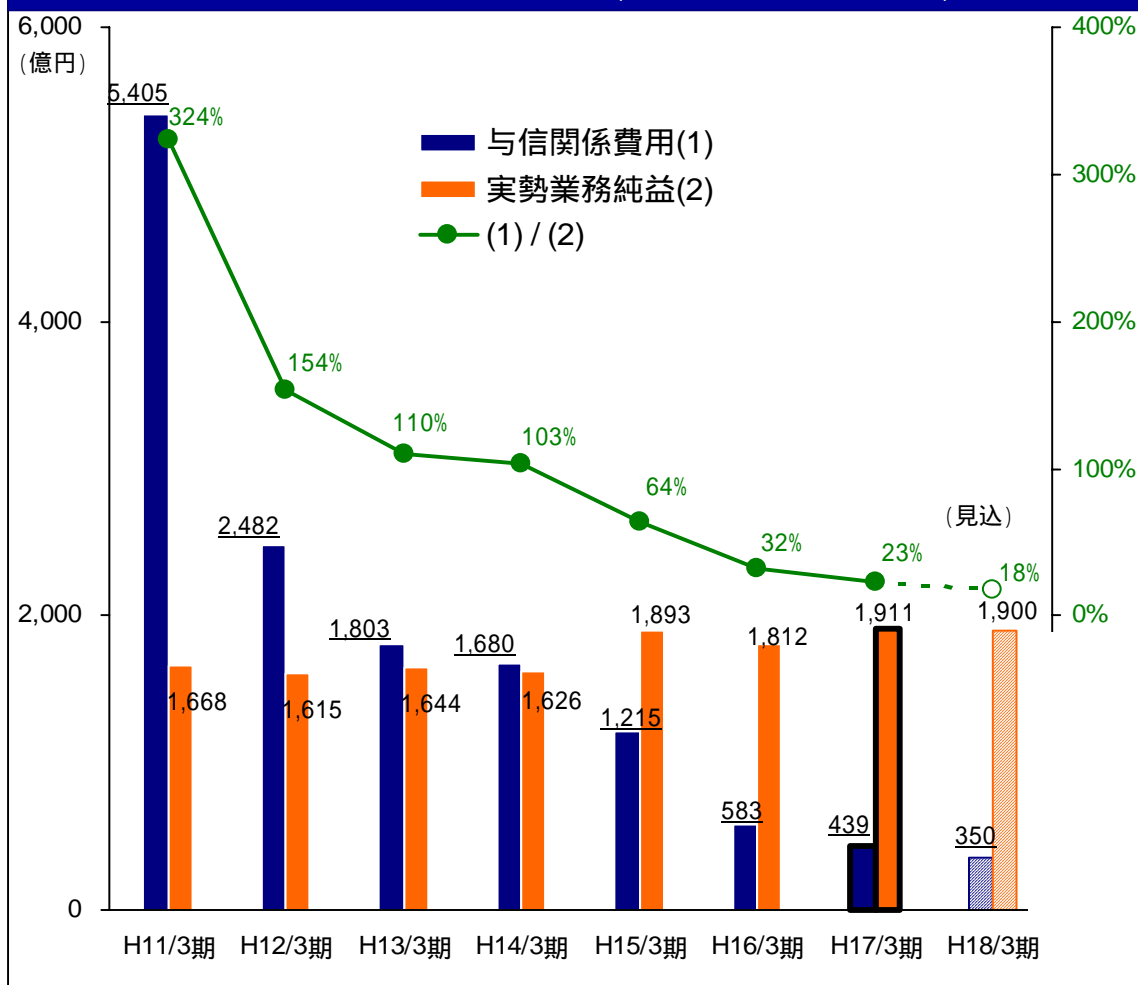
## ・財務基盤強化

- ・不良債権処理
- ・不良債権残高と不良債権比率
- ・株式ポートフォリオ
- ・債券ポートフォリオ
- ・繰延税金資産
- ・自己資本

# 不良債権処理

与信関係費用は6年連続で減少し、実勢業務純益の23%へ

与信関係費用と実勢業務純益 (中央三井+三井アセット)



与信関係費用の内訳

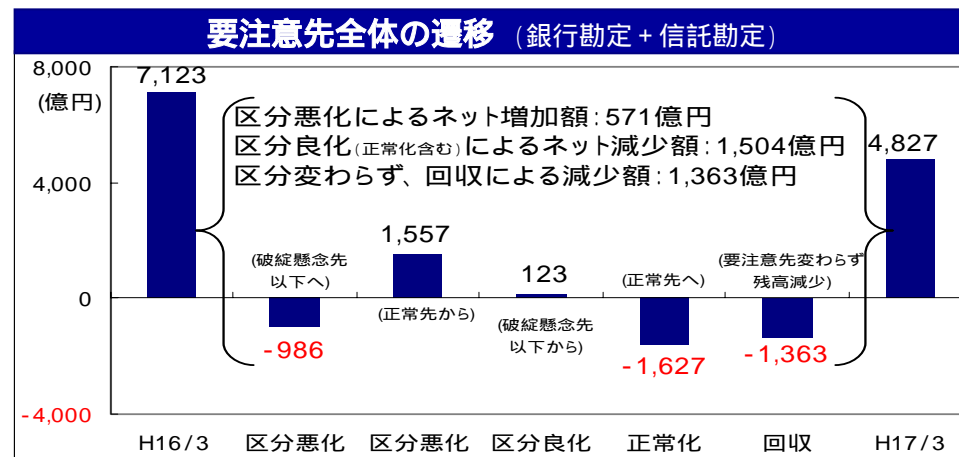
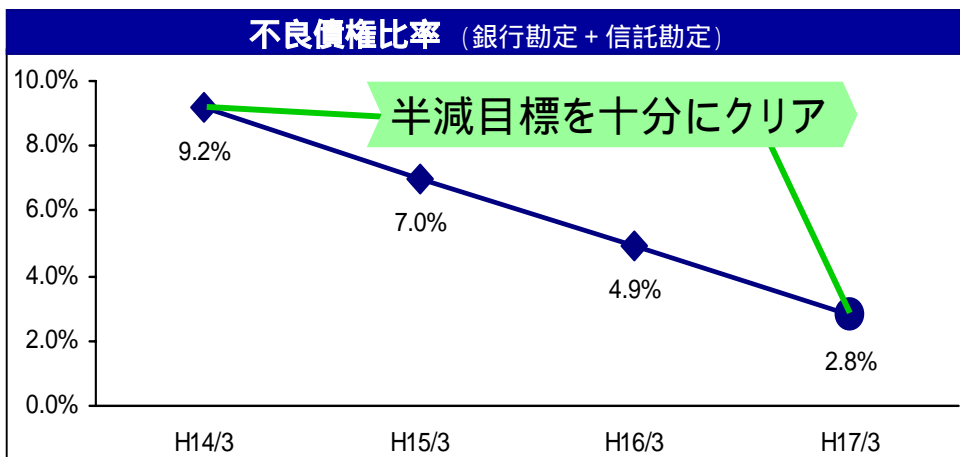
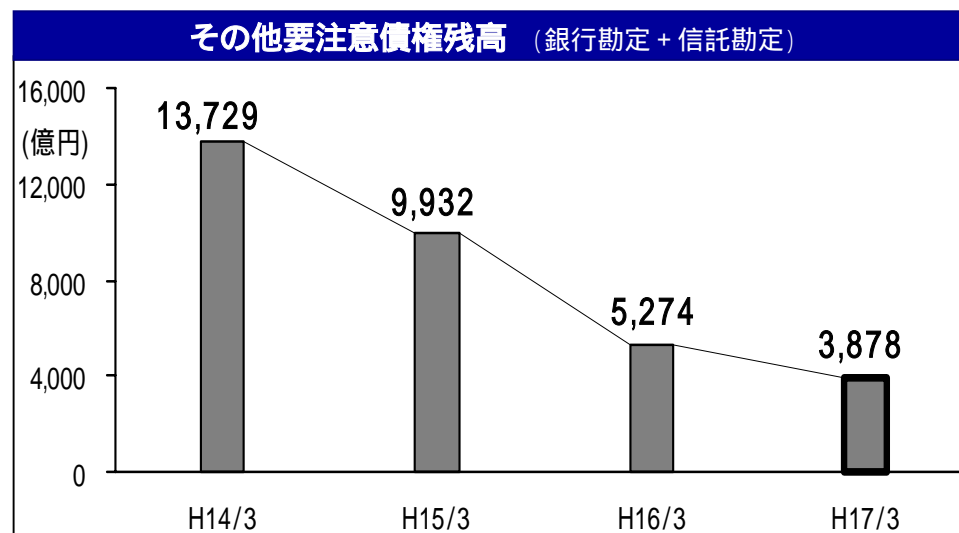
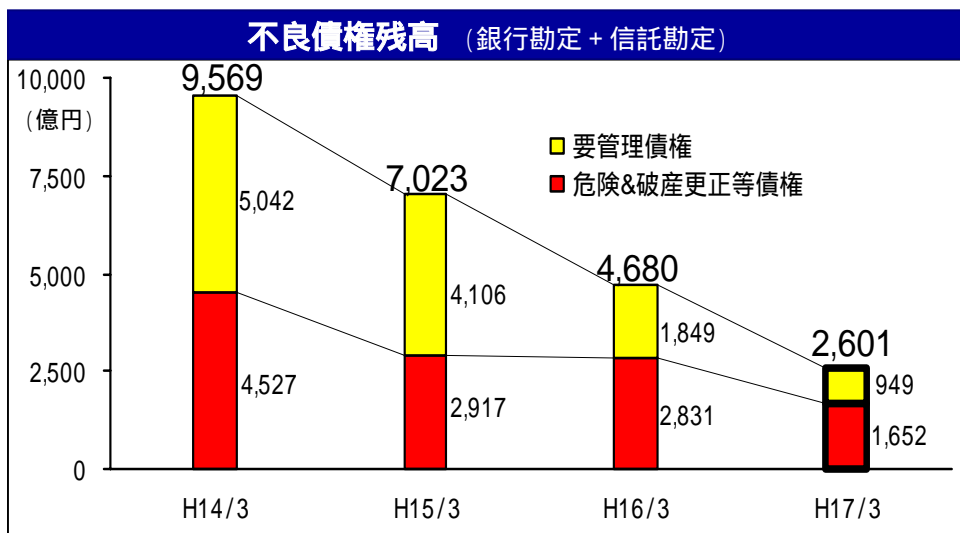
中央三井	a	b	c:b-a	d	e:d-b
	H16/3期	H17/3期		実績	
通常処理(新規発生)	424	381	-43	220	-161
最終処理	452	220	-232	130	-90
一般貸倒引当金	-293	-162	131	-	162
合計	583	439	-144	350	-89

オフバランス額

中央三井	a	b	c:b-a	d	e:d-b
	H16/3期	H17/3期		実績	
オフバランス元本	1,983	2,537	554	1,100	-1,437

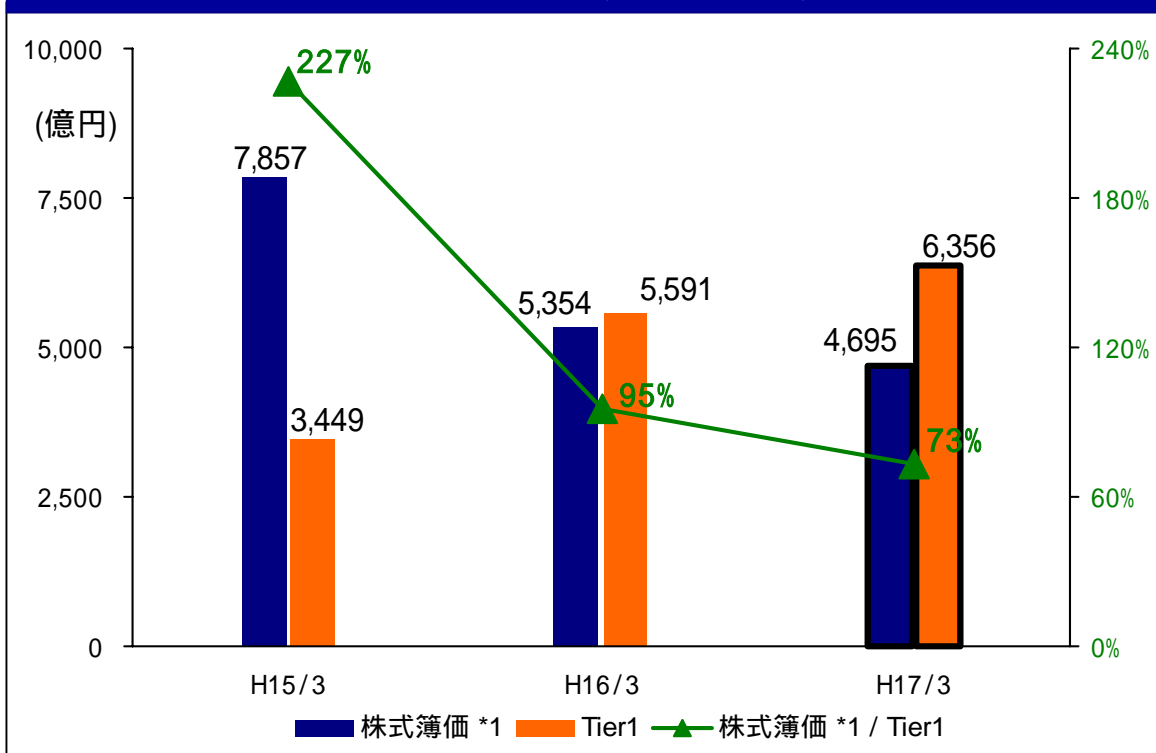
# 不良債権残高と不良債権比率

不良債権比率は2.8%まで低下



## 保有株式残高はTier1の73%へ

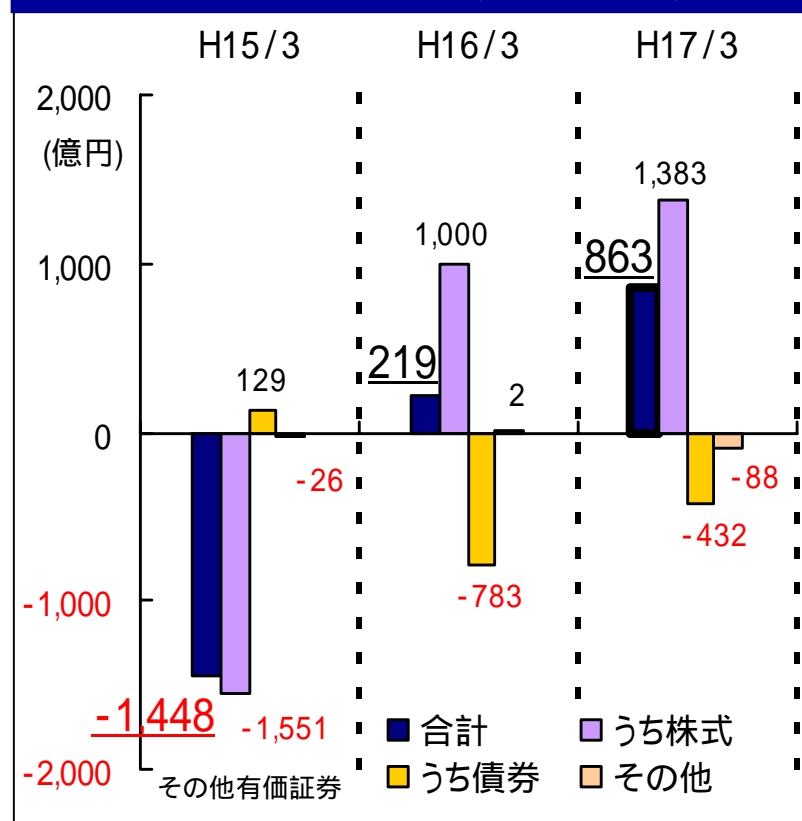
保有株式とTier1 (三井トラスト連結)



\*1 取得原価。ただし、H15/3はBS計上額(H15/3は株式評価損益がマイナスだったため)。

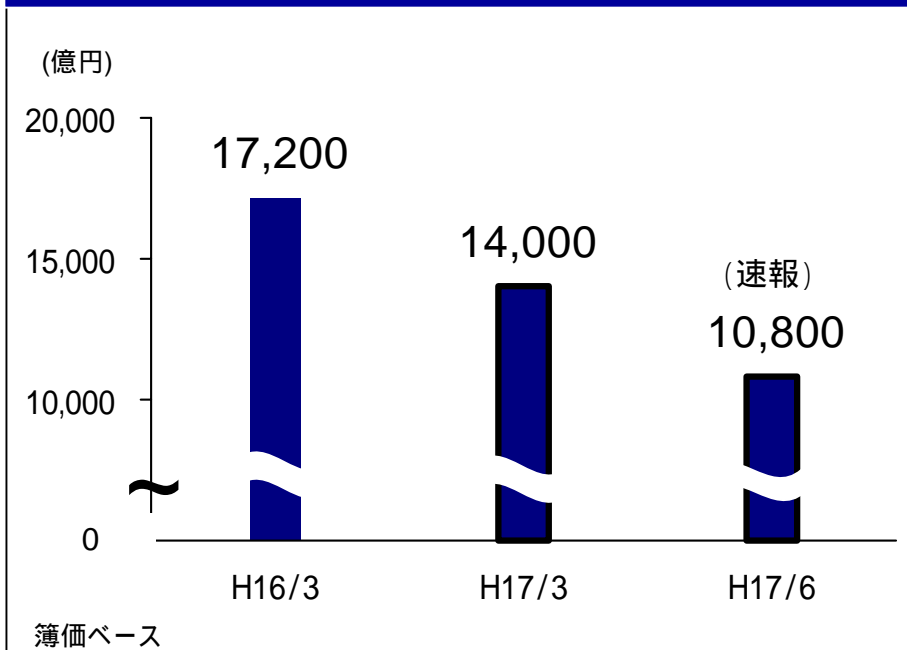
## 含み益が拡大

保有有価証券評価損益 (三井トラスト連結)

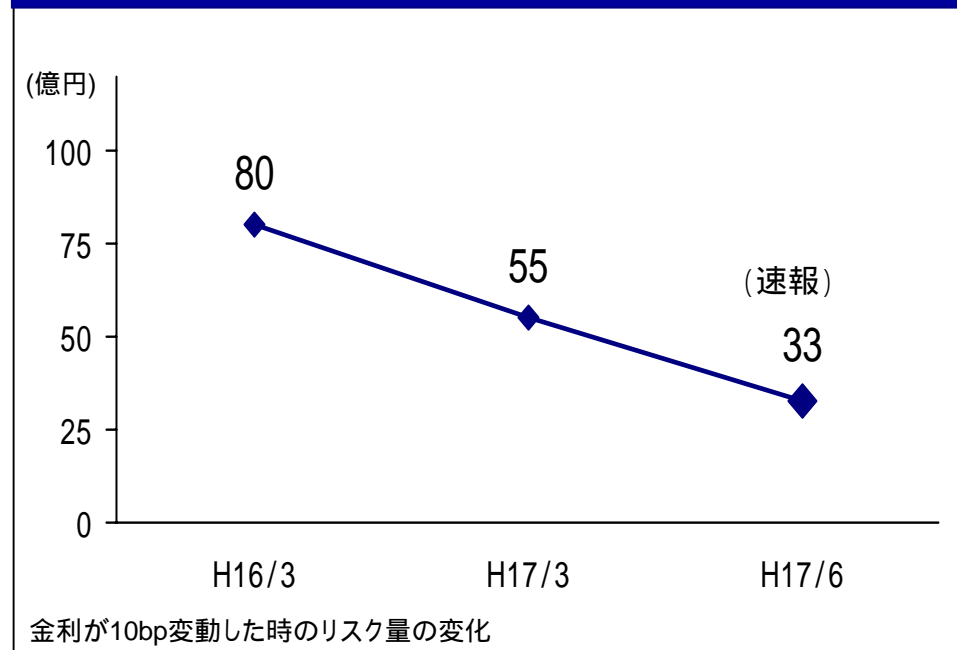


## リスク量の削減を実施

### 国債運用残高 (TB・FB除く)



### 10BPVのリスク量 (TB・FB除く)

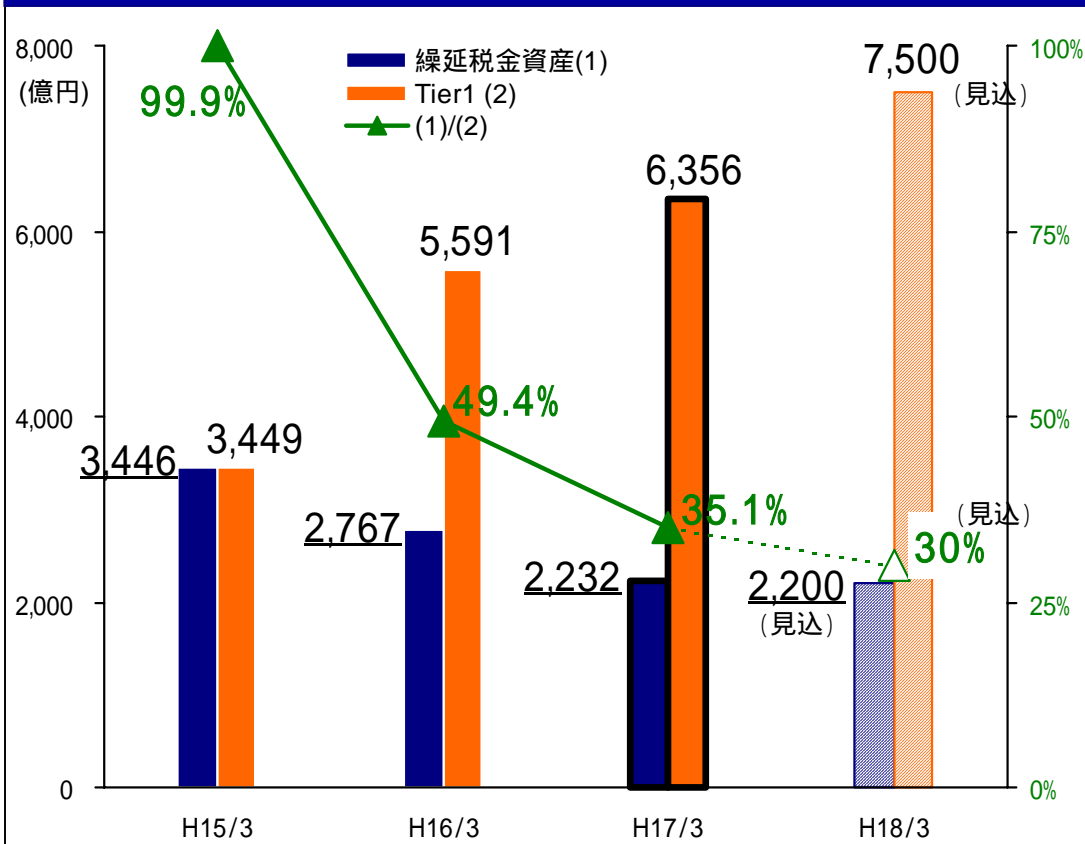


# 繰延税金資産

Tier1比35%<sup>へ</sup> (三井トラスト・連結ベース)

今期、繰延税金資産残高はほぼ横這いの見込み

繰延税金資産とTier1 (三井トラスト連結)



繰延税金資産・負債の主な発生原因別内訳

		(億円)		
中央三井・単体		H16/3	H17/3	増減
1	繰延税金資産	2,846	2,403	-442
	貸倒引当金	604	439	-164
	有価証券有税償却	318	303	-14
	その他有価証券評価差額金	55	-	-55
	退職給付引当金	151	138	-12
	繰越欠損金	2,703	2,352	-350
	その他	187	211	23
	評価性引当額	-1,174	-1,043	130
2	繰延税金負債	157	144	-12
	退職給付信託設定益	129	114	-14
	その他有価証券評価差額金	-	-	-
	その他	27	30	2
1-2 繰延税金資産の純額		2,689	2,259	-430

今後5年間の調整前課税所得の見積り額 (中央三井)

		調整額		繰延税金資産計算上の収益予測	
見積りの前提				5年間累計	
実勢業務純益	13,000	-6,936		6,064	年平均約1,200億円
税引前当期利益	11,500	-7,055		4,445	年平均約900億円
			税務調整	b 1,020	
				a+b 5,465	年平均約1,100億円

# 自己資本

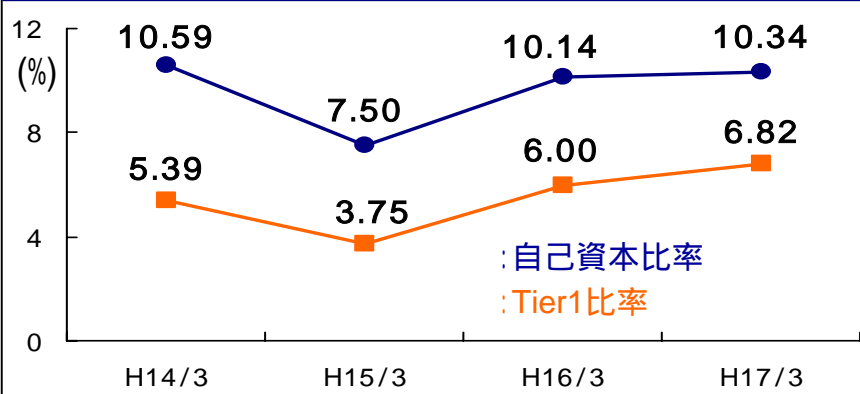
## 自己資本比率 (三井トラスト連結)

三井トラスト 連結	a		c:b 増減	d 予想	e:d-b 増減
	H16/3	H17/3		H18/3	
Tier1	5,591	6,356	765	7,500	1,144
Tier2	3,863	3,314	-549	3,200	-114
リスクアセット	93,073	93,205	132	97,000	3,795
自己資本比率	10.14%	10.34%	0.20%	11%程度	
Tier1比率	6.00%	6.82%	0.82%	7%台後半	

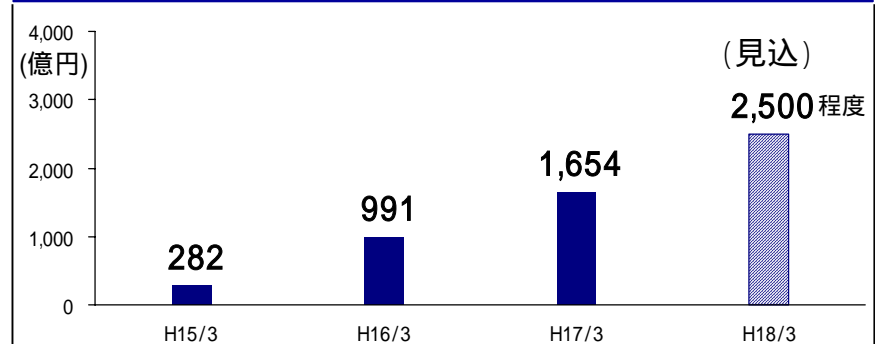
## H18/3期、リスクアセット増減計画

	(億円)	
	未残増減	リスクアセット増減
高収益資産の積上げ	+5,500	[+3,600]
住宅ローン	+3,800	[+1,900]
代替投資	+1,700	[+1,700]
その他	+200	[+200]
合計	+5,700	[+3,800]

## 自己資本比率とTier1比率 (三井トラスト連結)



## グループ剰余金<sup>\*1</sup>



\*1 三井トラスト、中央三井、三井アセットの剰余金の合計額から、利益準備金積立額とグループ外株主への配当等による支払額を控除。

## 優先株式

	金額 (億円)	種類	注入年月	配当率	現在の転換 価格(円)	下限価格 (円)	転換価格 修正日	一斉転換日	一斉転換日の 転換価格(円)	一斉転換時の 下限価格(円)
第一種	320	転換型	H10/3	2.50%	395.40	395.40	いずれも毎年	H30/8/1	時価*	400
第二種	1,500	転換型	H11/3	0.90%	450	450	8月1日,	H21/8/1	時価*	400
第三種	2,502.5	転換型	H11/3	1.25%	450	450	下方のみ	H21/8/1	時価*	400
合計	4,322.5									

\* 一斉転換日に先立つ45取引日目に始まる30取引日の当社普通株式の終値の平均値

## . 新たな取組み





## 次代を担う収益の成長ドライバーを発掘

### 事業再生ビジネス

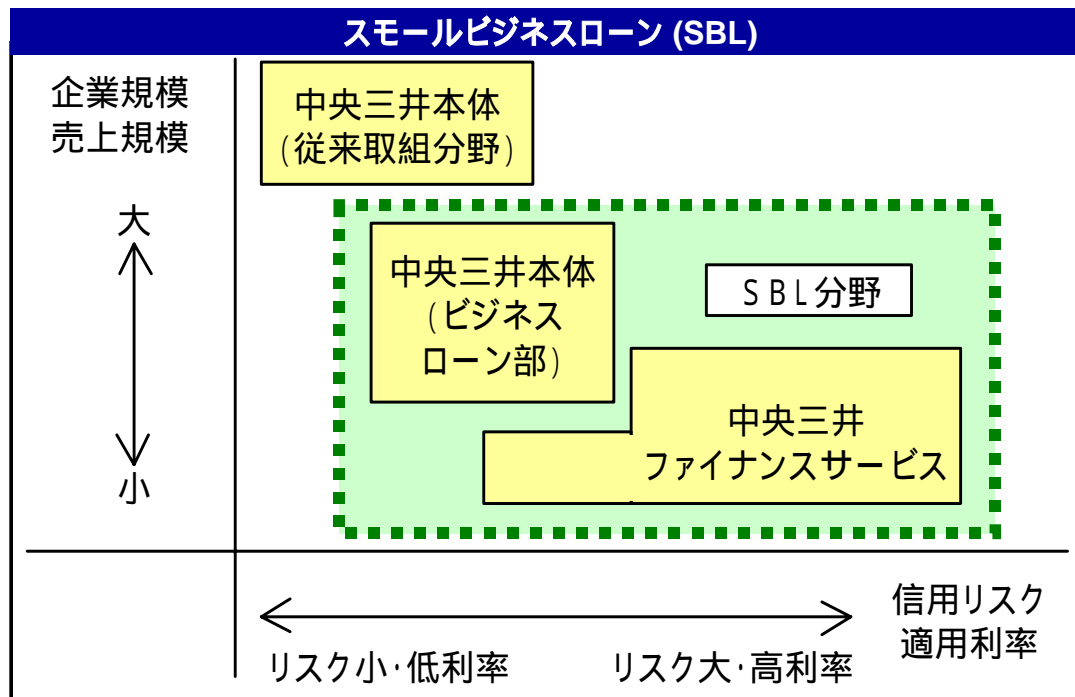
事業再生ファイナンス、バイアウト関連ファイナンス等への取組みを拡大

### スモールビジネスローン

- 中央三井内に、ビジネスローン部を新設
- ニッシンと合併で中央三井ファイナンスサービス(株)を設立
- 自動審査システムを採用

### リバースモーゲージ

高齢化社会の本格的到来を見越し、他社に先行して本格的取組みを開始





本資料には、将来の業績に関する記述が含まれております。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化等により、目標対比異なる可能性があることにご留意下さい。